

令和7年12月19日開催

第3回狭山市地域公共交通活性化協議会 資料3

狭山市地域公共交通計画の進捗管理について

計画目標 1：持続可能な地域公共交通を構築し、地域の環境にも配慮

◎達成 ○進行中 △一部実施・調整中 ×未実施

目標/調査方法/現状値 (令和7年10月末)	目標を達成するための施策	実施状況	達成状況・分析	評価・次年度に向けた課題や取り組み	備考
●鉄道駅乗降人員 78,698人/市内4駅 における一日平均乗降人員/-人	① 路線バスの維持・確保	○	・市内15路線確保 ・路線バス事業者と基幹路線、支線の今後の維持確保に向けた協議を実施	・市内循環バス茶の花号の再編、新たな公共交通の導入に向けて協議を進める。	
●路線バス利用者数 14,392人/市内15路線 32系統の一日平均利用者数/15,100人	② 公共交通を利用してもらうための取り組み	△	・東急台自治会でモビリティマネジメントを実施。ホームページに「未来のために、公共交通に乗って守ろう！」を掲載	・モビリティマネジメントを実施し、一定の認知度向上が見られた。今後もターゲット層に応じた広報を実施する。	モビリティマネジメント参加者 約200人
●環境負荷の少ない車両の導入1台 /車両の導入台数/0台	③ 運転手をはじめとした公共交通に関わる人材の確保	△	・県企業人材サポートデスク川越とハローワークに参加依頼	・高齢運転者に依存し、新規人材の確保が難航している。 ・公式ホームページに公共交通に関わる人材の確保のコンテンツを作成するとともに産業振興課と連携し人材確保に努める	
 東急台自治会でモビリティマネジメント	④ 公共交通に関する協働事業の実施	△	・社会福祉協議会で福祉有償運送講習会を開催 6月14日・21日（土）	・福祉有償運送講習会を開催し3名の方がボランティア登録となった。公共交通の利用促進につながるタイアップ事業を実施する。	17名参加
	⑤ カーボンニュートラルの実現に向けた取り組み	△	・公式ホームページに地球温暖化の原因とされる自動車からの排気ガスの抑制を目的とした「エコドライブのすすめ」を掲載し周知	・引き続き効果的なカーボンニュートラルの実施に向けた取り組みを検討していく。	

計画目標2：誰もが安全・安心・快適に利用できる公共交通サービスの提供

◎達成 ○進行中 △一部実施・調整中 ×未実施

目標/調査方法/現状値 (令和7年10月末)	目標を達成するための施策	実施状況	達成状況・分析	評価・次年度に向けた課題や取り組み	備考
<p>●高齢者の外出頻度 80.0%（令和7年度目標値） /65歳以上の市民が週2回以上外出する割合 (狭山市高齢者福祉計画・介護保険事業計画) /-</p> <p>●バス待ち環境の整備 5ヶ所以上/バスまちスポット、まち愛スポットの設置数/2ヶ所</p> <p>●高齢者運転免許証自主返納支援制度利用者数 428人以上/高齢者運転免許証自主返納支援制度の利用者数 /309人</p> 	⑥ 総合的な公共交通ガイドブックの作成	×	-	・市内循環バス「茶の花号」の再編に合わせて公共交通マップの検討を進める。	
	⑦ バス待ち環境の整備	○	・バスまちスポットとして2箇所登録（狭山市社会福祉会館 ・狭山市市民交流センター）	・引き続き公共交通を利用し誰もが出歩きやすく、地域とつながりやすいまちを目指しバス待ちスポットの登録数を増やす。	
	⑧ デジタル技術の活用による公共交通の効率化	○	・公式ホームページに路線バスの「バスロケーションシステム」のご案内を掲載	・高齢者層の利用に向けてICT支援強化を検討していく。	
	⑨ 福祉団体等が運行する交通サービスとの連携	△	・第1層協議体定例会に参加し、公共交通の現状と課題について協議	・地域の特性に応じた移動手段を確保に向け、新たな地域公共交通サービスの一つとして検討する。	
	⑩ 運転免許証自主返納の促進につながる施策の推進	○	・公式ホームページに掲載、「広報さやま」に掲載 ・免許返納者に最大1万円支援を実施	・引き続き制度の周知を図る。	

計画目標3:効率的かつ利便性の高い公共交通ネットワークの構築

◎達成 ○進行中 △一部実施・調整中 ×未実施

目標/調査方法/現状値 (令和7年10月末)	目標を達成するための施策	実施状況	達成状況・分析	評価・次年度に向けた課題や取り組み	備考
●市内循環バス「茶の花号」の収支率 14.5%以上 /市内循環バス「茶の花号」の収支率/- ※地域交通の再編後の収支率	⑪ 生活環境に合わせた市内循環バス「茶の花号」の改善	○	・市民分科会で市内循環バス茶の花号の再編について協議中 7月1日(火)、8月27日(水)	・令和9年度の運行に向けて協議を進める。	
●地域公共交通力バー 圏域 83%以上 /駅から徒歩 1,000 m以内、バス交通につ いては 1 時間に 2 本 以上 (1 往復) 運行し ている停留所から徒歩 300m 以内の区域/-	⑫ 新たな地域公共 交通サービス	△	-	・市民分科会で市内循環バス茶の花号の再編後、交通手段が不足するところの新たな公共交通の導入を検討する	
●公共交通の満足度・ やや満足度 35%以上 /計画に係る市民アン ケート調査結果/-	⑬ 隣接市との広域 連携に関する協 議	○	・地域公共交通会議や法定協議会等の運営改善、並びに各市が抱える公共交通課題の解決に資することを目的として、構成市間の相互視察及び先進地の事例調査を行い、会議運営のノウハウ共有、課題の解決方法の把握、公共交通担当者のスキル向上を図る取り組みを実施	・埼玉県西部地域まちづくり協議会(ダイアプラン)公共交通部会で情報共有・広域課題の整理を実施する	・埼玉県西部地域まちづくり協議会(ダイアプラン)構成市(狭山・所沢・入間・飯能・日高)で協議